

別添 1-2.平成 25 年 7 月 6 日(土)海辺の生き物観察会 in 大角海浜公園で観察した生物(一部)



スガイ

殻や蓋が厚い。小さなサザエのようである。



アマガイ

半卵型の巻貝で、黒く滑らかな表面に、黄色い三角の細模様が無数にある。



ヨフバイ

つるりとした表面に、複雑な模様がある。



イシダタミ

規則正しい溝の模様から、石畳にたとえて名が付いた。



イボニシ

表面にいぼがあり、やや黒みを帯びた褐色。



ケガキ

殻の表面に、黒いパイプ状の突起がある。



ヨメガカサ

殻は非常に薄く笠型。



マツバガイ

黒い放射状の模様は、傘を広げたようである。

別添 1-2.平成 25 年 7 月 6 日(土)海辺の生き物観察会 in 大角海浜公園で観察した生物(一部)



ドロメ

体表面に白斑点が多いハゼ。尾びれや胸びれに黒い斑点が無い。



ミミズハゼの仲間

石の下などにすむ。体は細長い。



イソガニ

甲にはつやがあり、ハサミには紫色の斑点、足には縞模様がある。



ヒライソガニ

甲面が扁平。外見の色には変異が多い。



ケアシホンヤドカリ

足に長い毛が生えている。



スジエビモドキ

体表の縞模様はまばら。



カメノテ

岩の隙間に付く。うろこ状でカメの手にそっくり。



クロフジツボ

灰色がかった円錐形の殻表面に、細かい筋がある。

別添 1-2.平成 25 年 7 月 6 日(土)海辺の生き物観察会 in 大角海浜公園で観察した生物(一部)



ヒザラガイ

表面はざらついていて、岩にしっかりとくっついている。



ウノアシ

殻は星型で、白い筋がある。



ヤマトウミウシ

表面には細かいこぶ状の突起がある。色は黄色から黒まで様々。



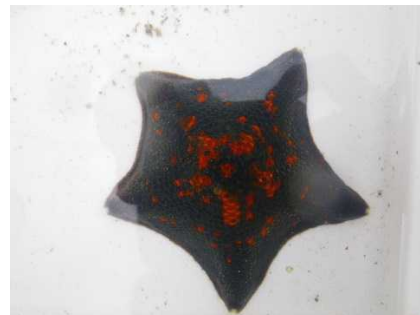
ヨロイイソギンチャク

体の表面に、小石や貝殻の破片などを付けている。



タテジマイソギンチャク

閉じたときに、体表にオレンジ色の縞模様が見える。



イトマキヒトデ

星型で黒青色の体表面に、まばらに紅色の模様がある。



ムラサキウニ

黒紫色でつやのあるとげで覆われている。



フナムシ

岩の間を素早く動く。足は7対ある。